

# 「伝わる」文章実感

市民活動スキルアップ講座

館林 市民30人が受講

もっと「伝わる」文章を。

館林の「まちづくり」を考える研究グループ主催の市民活動スキルアップ講座が1日、城沼総合体育館ミーティングルームで開かれた。同グループに所属するフリーライター、橋本淳司さ

ら(39)が講師となり、市民30人に「広報力」のある文章の書き方を伝授した。

講座はより充実した市民活動を目指そうと、先月11日の「上手な会議の進め方講座」に続く開催。執筆活動のほか企業の宣



「伝わる文章のキーワードはわかる、見える、つかむ」と語る橋本さん(右)

伝部・広報部のコンサルティングも行っている橋本さんは、経験談を交えながら「仕事や市民活動で使う文章を書くのに必要なのは、文才ではなく技術。クオリティーを上げるために①わかる②見える③つかむの3つ

を心がけて」と呼びかけた。

受講生は講演会の連絡文書、会議の報告書の文例を見比べながら「伝わる」文章を実感した様子。橋本さんは「読み手はその情報が必要か必要ではないかを3秒で判断する。図表や簡条

書きを使って1枚にまとめ、一目で見えるようにして」「必要な情報だと読み手に思わせることが大切。とにかく読んでもらうために、タイトルで心をつかもう」などと語り、スキルアップを促していた。